



広報 たちばな

第10号

平成19年5月1日発行

(財)日本医療機能評価機構認定病院
橘 病院
TACHIBANA HOSPITAL
<http://www.tachibana-ho-sital.jp>

ドクタートーク

内科医 新村 陽子



美しかった満開の桜はすっかり散り梅雨と暑い夏がやってくる季節となりました。女性としては紫外線が気になり始めた今日この頃です。

紹介が遅れましたが、私、新村陽子と申します。5月に発行する橘病院広報誌に載せる原稿を依頼されました。文字数、内容ともに制限なしとのことで、自由過ぎて逆に困ってますが、先ずは自己紹介から行いたいと思います。

昭和49年生まれ、都城育ち、今話題のそのまんま東県知事も通われた都城市立東小学校卒業です。そして、ご存知の方もおられると思いますが、理事長の長女になります。

現在は鹿児島大学循環器・呼吸器・代謝内科学・腫瘍病態学(血液免疫学)(旧第一内科)に所属し、橘病院に勤務し始めて約1年半になります。

主人は鹿児島大学放射線科に所属しており、現在は独立行政法人国立病院機構都城病院放射線科に勤務しております。

橘病院では基本的に外来診療は行ってあらず、入院患者さんの内科的疾患の診療を主に行ってあります。その為、この広報誌を読まれている多くの方が私のことをご存じないのではないかと思いますが、これを機にご記憶に留めていただき、あ気軽にお声をかけていただければと思っております。

趣味は絵を描くこと、釣り(主人に付き合って)、読書です。週に2・3回は汗を流そうとスポーツクラブの会員となってありますが、最近サボり気味です。

最近読んだ本の中で心に残る一説があったのでご紹介したいと思います。(現本が手元に無いので私の記憶に残る粗筋です。)

『最近、物事が思うように進まないです。』とある人が言いました。
『それは他人に対する施しが足りないのです。』とある人が答えました。

『でも、私は施しが出来るようなものは何も持っていないません。』

『いいえ、人間は財産がなくても他人に施せる7つのものを持っています。』

一、和顔施:明るく優しいまなざしで人に接すること。
二、言施:愛しい言葉、慰労の言葉、激励の言葉、譲歩の言葉、優しい言葉。

三、心施:人の悲しみや苦しみを共にわかってあげられる心でいること。

四、眼施:好意をもつ視線でひとに接すること。

五、身施:体で好意をなすもの。

六、床座施:場所と時間にかまわず人に席を譲ること。

七、察施:いちいち聞かなくても相手の心を察して助けること。

このようなことが書かれてありました。特に努力しなくてもこのようなことが自然と出来るような人間になりたいと思いました。また、橘病院のスタッフ一人ひとりもこのようなことを常に心がけ、更に良い病院となることを願っております。

婦長さん・主任さん

2階病棟
看護師主任 二川 美穂

こんにちは！

私は、2階病棟に勤務している二川美穂といいます。橘病院には、看護学生の時から勤務しており、4月より10年目に突入しました。

はじめ同期生が4人いましたが、9年の間に一人ずつ新しい道へと向かっていき、一人残った同期と5年余りをともに歩んできました。

私の人生において大きな存在だった彼女も、春から新しい道へ向かって進んでいきました。

入院という辛い時間も、人生の一部だと思います。大変だったけど橘病院で治療してよかったですと思って頂けるよう、ささやかながらスタッフ一同、力になりたいと思っています。



“美容と健康は まずバランスのよい食生活から”

私たちの体は食物からさまざまな種類の栄養素を摂ることで、活動するエネルギーを得ています。言いかえると、食物のおかげで生きていられるわけです。

それなら、「よりよい自分」を作るためにもバランスのとれた食事をしたいものです。インスタント食品やファストフード・外食などに頼って、お肌の調子が悪くなったり、疲れがとれにくくなっていますか？ 今回は、「食」について改めて考えてみましょう。

大事なのは、食事の内容を【主食+主菜+副菜】で組み立てることです。

●主食（ごはんやパン・麺などの炭水化物）

体をよく動かす方は多めでもかまいませんが、デスクワークなどで普段あまり動くことのない方は摂り過ぎは禁物！ ごはんのあかわりや、ラーメンにライスをつけることは、タブーです。

●主菜（メインになるおかず）

魚や肉・卵や大豆製品などの、主にたんぱく質の多い食材を選びましょう。血液や筋肉を作る鉄分が豊富なので、毎食献立に取り入れるようにしましょう。

●副菜（和え物やサラダなどの野菜類）

サラダやお浸し・煮物など、野菜や海藻をメインにします。ビタミンやミネラルが多く、カロリーも低いものが多いです。まずは1品でもよいので用意しましょう。（理想は1食に2～3品、慣れてきたら試みましょう）食物繊維が多いので便秘気味の方にもおすすめです。

これをベースに、汁物やフルーツ・乳製品を取り入れればバランスの良い食生活になります。一人暮らしだと手早く簡単にできる単品メニューになりがちですが、でもこれを応用すれば単品メニューでもいろいろとアレンジできます。野菜たっぷりカレー・具だくさんスープなどなど。

あとは、1日3食しっかり食べること。朝食抜きや1日2食の生活は、逆に消化吸収が高く太りやすい体质を作る原因にも！ だいたい決まった時間に、きちんと食事を摂る習慣をつけるようにしましょう。



AED・CPR講習を 実施しています。

皆さん、*1 AED（自動体外式除細動器）をご存知でしょうか？

簡単に言いますとAEDとは、心臓の動くりズムが悪くなった傷病者的心臓に、電気ショックをあたえる機器のことです。電気ショックと聞くと怖いイメージがありますが、AEDにはコンピュータが内蔵されており、必要な場合にしか電気ショックをあたえないようになっています。

最近ではその優れた性能から、医療資格を持たない一般の方でも使用することが認められており、最近ではデパートや空港、高速道路のサービスエリアなどにも設置されています。少し前の話になりますが、愛知万博においても数名の方がAEDを使用し命を救われたという報道もありました。

当院では2台のAEDを設置し、患者様の急変対応に備えています。急変対応の場合、正確且つ効率的に処置を行わなければなりません。そのためには日頃の訓練が必要となります。

当院では「橘病院AED推進委員会」を発足させ、患者様急変時の連絡対応やAED取り扱い、*2 CPR（心肺蘇生法）の手順を訓練しています。病院内では勤務している誰もが急変した患者様を発見する可能性があるため、職種を問わず全スタッフを対象に訓練しています。

当院には訓練用の人形2台とAEDが1台あり、それを活用し毎週、月曜・水曜・金曜に講師3名、受講者2名で1時間30分程度の訓練を行っています。

今年の1月から取組みを開始し、現在では120名の職員の内100名が受講しました。先ほど述べたように、日々の訓練が大切である為、今後も継続し1人で年間2～3回程度の講習を行う予定です。

今後とも、患者様が安心して治療できる病院づくりを目指します。

*1 AED(Automated External Defibrillator)

*2 CPR(Cardio Pulmonary Resuscitation)

（記事：増田 真樹）



「今、なぜ院内感染対策が必要か?」

—標準予防策を中心に—

講師 大正富山医薬品(株) 四辻 彰氏

感染対策の標準予防策となる、手洗い、環境管理について勉強会を行いました。一処置、一手洗いの重要性を再認識し、患者様へ安全な医療を提供できるようスタッフ一同努めていきたいと思います。

(職員アンケートより)

- 手指衛生の重要性を改めて感じた。これからも、手洗いとアルコール消毒を心がけたい。
- 手洗いは流水のみと考えていたが、アルコール消毒も考えに入れると手指消毒は負担にならずに行える。



出席者31名



平成19年3月9日(金)開催

個人情報保護に関する基本方針

当病院は、個人情報を正確かつ安全に取り扱い保護することを社会的責務と考え、以下のことを宣言いたします。

- 当病院は、個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムを策定・運用を規定し、全ての代表者および職員が遵守することにより、個人情報の適切な管理に努めます。
- 当病院は、個人情報保護の重要性について、院内に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報保護の管理・監査者を設置し、適切な管理・監査体制を確立し運用を行い継続いたします。
- 当病院は、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などが発生しないように安全対策を実施いたします。
- 当病院は、個人情報の収集・利用・提供については、個人情報に関する個人の権利を尊重し、収集目的・使用範囲の限定を明示し、適切な管理に努めます。
- 当病院は、個人情報に関する法令その他の規則を遵守します。
- 当病院は、以上の活動について、内容を継続的に見直し、改善に努めます。

ご意見箱コーナー

患者様(女性)のご意見

※外来のお手洗いを男性と女性、別々に分けていただきたいと思います。男性が使用中は、通りにくいです。

★案内不足でご迷惑をあかけ致します。当院の外来のトイレは、男女共有ですが、プライバシー保護のために一人使用となってあります。中に入られましたら、下記の手順で鍵をお掛けの上、ご使用ください。

● 診察室前のお手洗い



● 物療室前のお手洗い



貴重なご意見ありがとうございました。より質の高いサービスが提供できるように改善していきたいと思います。外来・1階公衆電話横・2階病棟と3階病棟の談話室に《ご意見箱》を設置しています。これからもご意見をどしどしあ寄せ下さい。

業務改善対策委員会意見箱係



「膝の人工関節手術を受けて」

板越 千代子

私は、数拾年前から膝関節で悩んでいました。人の話を聞いてあそこが良いと言わればそこで熱中し、又此処が良いと言われば又そこで治療して、そして温泉等へ行き、あらゆる所へ行きました。此の数拾年間、痛みを堪えながら過ごしてきました。

一昨年、良い友人に巡り会い、その人は橘病院で柏木先生にお願いして手術したら痛みもなく、今はもう階段等を平気で上り下りする様になったと聞きました。その人から勧められ、柏木先生に手術をお願いしました。お蔭様で結果も順調で、今では痛みも感じず、真っすぐに歩く様になりました。手術前の私の姿を見ていた人は、「スタイルが変わった。前の姿はない。」と言って喜んでくれました。

ある日、私がまだ病院のリハビリ室でリハビリをしている時、主人が来てビデオカメラに映していました。リハビリが終わって私が階段を下りる姿を主人が映す準備をしている内に私が下りてしまつたので、それには主人も吃驚していました。今では良い先生に巡り会つたことに感謝、感謝でいっぱいです。柏木先生本当に有難うございました。

節 分 (記事 園木 望水)

みなさんは、今年はどのような豆まきをされましたか？
鬼は退治できましたか？？

私は、去年に引き続き病院の豆まきに鬼役として参加する事ができました。各病室を回り、たくさんの豆を体に浴びました。またいっしょに入院患者様と写真を撮るなど、患者様もたいへん喜ばれました。私自身も楽しい時間を過ごす事ができました。

今年一年も皆様にとって良い年でありますように…。



【節分】(平成19年2月3日(土)開催)

●皆さんから何が疑問に思われることやご質問があれば、当院の医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、放射線技師、事務員があ答えいたしますので文書や口頭、メールでかまいません。お寄せください。

(メールアドレス info@tachibana-hospital.jp)



「両股関節の手術を受けて」

松岡 能婦子

桜開花のニュースを耳にする今日この頃でございます。度々の素晴らしい広報誌をご送付いただきまして、誠にありがとうございます。安心して私が手術を受けられたのは柏木先生を始め、院内全スタッフの皆様方の励ましと優しい愛情があったからこそと深く感謝申し上げます。

痛みと不安でいっぱいでしたが、柏木先生の「頑張りましょう。」と云う言葉にうれしくなりました。思わず先生と握手を致しました。あの苦しい痛みがどこへ行ったのか不思議でなりませんでした。お医者様と患者の信頼感と一体感であることをつくづく感じさせられました。橘病院あっての私なのです。

術後のこと、感動を、日南の方にもよくお話致します。最近では杖なしでも歩けるようになりました。一歩一歩気をつけながら前向きに頑張って楽しい日々を過ごしていきたいと思います。

－日々の生活の中から－

*高齢者クラブの方との交流「ミニグランドゴルフ」に参加させていただいてあります《ショートコース、体力作り》

*コーラスグループの方々との交流(大きく声を出して“ボケ防止”に役立ててあります。)

*ストレッチ体操教室(音楽を聴いて体を動かす)

自分自身できることを生活の中に取り入れていきたいと思います。最後に橘病院のご発展に心からお祈り致します。

標語

2月 ☆安全は 日々の声かけ 心がけ

3月 ☆自分の経験 過信せず 初心にかえって 安全確認

4月 ☆安全は 自分の意識と 日々の点検から

5月 ☆1人1人の向上は 明日への発展に つながる

橘病院の理念(私たちがめざすこと)

当院は「医療の質の向上」を追求し、患者様(家族)と職員・スタッフがともに「心ゆたか」になれる病院を目指します。

患者様の1日も早い社会復帰(家庭、就労、就学など)を願い、地域住民から安心され、信頼され、共感を得られる病院づくりを目指します。

広報委員

新留ひとみ・森山 善子・連城 幸枝・中村 みゆき・池之上 浩紀・今西 由紀子・田中 美佳・山元 加代子・小八重 静香・山下 みさ子・増田 真樹・山口 光生・小川 達矢・野口 勇樹・河野 まさみ・園木 望水・和田 麻衣・井之上 紗綾